

(議題4) 令和7年度事業実績報告

- 1 展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 1)
 - (1) 企画展実施一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 1)
 - (2) 第41回企画展
芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑦ ～歌枕を訪ねて～・・・・・・・・ (P 2)
 - (3) 第42回企画展
金森吉次郎 ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～・・・・・・・・ (P 4)
 - (4) 第43回企画展
『奥の細道』「大垣」の章段を探る・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 6)

- 2 教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 8)
 - (1) 総合監修者講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 8)
 - (2) おおがき芭蕉大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 8)
 - (3) おおがき先賢大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P 9)
 - (4) こどもミュージアム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P10)
 - (5) 学芸員実習の受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P12)
 - (6) 講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P12)
 - (7) ふるさと魅力体験事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P13)
 - (8) 視察等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P14)

- 3 資料の収集活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (P15)

1 展示活動

(1) 企画展実施一覧

回数	題名	会期	入館者数
内容			
41	芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑦ ～歌枕を訪ねて～	令和7年3月29日（土）～ 令和7年5月11日（日） 【日数】44日間	3,530人
芭蕉は、「旅の詩人」とも称されるように、旅を通じて新しい俳風を求め続けた。芭蕉が旅中に訪れた地は、「歌枕」と呼ばれる、古来、和歌に詠み込まれてきた名所・旧跡も少なくない。本企画展では、『奥の細道』の旅において、歌枕を巡り、古人と心を重ね合わせることを目的の一つとしていた芭蕉の思いについて、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。			
42	金森吉次郎 ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～	令和7年7月19日（土）～ 令和7年8月31日（日） 【日数】44日間	2,445人
大垣に生まれた金森吉次郎は、日本でも有数の洪水地帯として知られる濃尾平野において、明治24年（1891）の濃尾地震や同29年の大水害を経験し、「水を治むるの本は、山を治むるに在り」の思想の下、木曾三川改修工事や植林事業に力を尽くした。本企画展では、治山治水に生涯を捧げた金森吉次郎と彼を取り巻く人物たちとの活動について、ゆかりの資料を通して紹介した。			
43	『奥の細道』「大垣」の章段を探る	令和7年10月4日（土）～ 令和7年11月16日（日） 【日数】44日間	3,016人
大垣は、「奥の細道むすびの地」と称されるように、芭蕉が著した『奥の細道』を締めくくる章段として登場する。紀行本文には、大垣を訪れた主人公「予」と人々との交歓の様子が描かれている。本企画展では、『奥の細道』の「大垣」の章段を取り上げ、芭蕉と大垣とのつながりや芭蕉を取り巻く人々について、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。			

(2) 第41回企画展

- ① 題 名 芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑦ ～歌枕を訪ねて～
- ② 会 期 令和7年3月29日（土）～令和7年5月11日（日）【入館者数：3,530人】
- ③ 内 容 芭蕉は、「旅の詩人」とも称されるように、旅を通じて新しい俳風を求め続けた。芭蕉が旅中に訪れた地は、「歌枕」と呼ばれる、古来、和歌に詠み込まれてきた名所・旧跡も少なくない。本企画展では、『奥の細道』の旅において、歌枕を巡り、古人と心を重ね合わせることを目的の一つとしていた芭蕉の思いについて、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。

④ 展示資料

- ・芭蕉筆「かさしまや」句文懐紙（伊賀市蔵）
- ・芭蕉筆「きさがたの」等三句懐紙（亀田城佐藤八十八美術館蔵）
- ・芭蕉筆「なみだしくや」句短冊（個人蔵・敦賀市立博物館寄託） ほか

⑤ 学芸員によるギャラリートーク

回 数	と き	参 加 者
第1回	3月30日（日）	46人
第2回	4月13日（日）	7人
第3回	4月27日（日）	11人
第4回	5月11日（日）	12人
計		76人

⑥ 企画展関連講座

- 1) と き 令和7年5月4日（日）
- 2) と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- 3) 演 題 歌枕の近世的変容と俳諧
- 4) 講 師 熊本県立大学准教授 真島 望 氏
- 5) 参加人数 58人
- 6) 受講料 無料

⑦ 講座のアンケート結果

- ・歌枕の表す名所が、近世になると実際に歩き確かめ、俳人たちによっても広められ、『奥の細道』につながっていくということがわかった。
- ・江戸時代に入ると新しいインフラも名所として認めようとする考え方が、とてもおもしろいと思った。

⑧ 展示会場



(3) 第42回企画展

- ① 題 名 金森吉次郎 ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～
- ② 会 期 令和7年7月19日（土）～令和7年8月31日（日）【入館者数：2,445人】
- ③ 内 容 大垣に生まれた金森吉次郎は、日本でも有数の洪水地帯として知られる濃尾平野において、明治24年（1891）の濃尾地震や同29年の大水害を経験し、「水を治むるの本は、山を治むるに在り」の思想の下、木曾三川改修工事や植林事業に力を尽くした。本企画展では、治山治水に生涯を捧げた金森吉次郎と彼を取り巻く人物たちとの活動について、ゆかりの資料を通して紹介した。

④ 展示資料

- ・明治24年12月22日付金森吉次郎宛福沢諭吉書状（個人蔵）
- ・明治30年8月7日付湯本義憲宛金森吉次郎書状（個人蔵・埼玉県立文書館寄託）
- ・岐阜震災救済ニ関スル金森吉次郎等上申書（國學院大學図書館蔵） ほか

⑤ 学芸員によるギャラリートーク

回 数	と き	参 加 者
第1回	7月19日（土）	13人
第2回	8月10日（日）	18人
第3回	8月24日（日）	16人
第4回	8月31日（日）	9人
計		56人

⑥ 企画展関連講座

- 1) と き 令和7年8月17日（日）
- 2) と ころ 総合福祉会館 5階 ホール ※空調設備の不調により会場変更
- 3) 演 題 災害に立ち向かった明治人 ～金森吉次郎と金原明善による思想の共鳴～
- 4) 講 師 鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授 伴野 文亮 氏
- 5) 参加人数 99人
- 6) 受講料 無料

⑦ 講座のアンケート結果

- ・金森吉次郎と金原明善の関わりが、よくわかった。明治の人々の苦勞なり考え方がよくわかった。
- ・災害の多い時代、治山治水の大切さがよくわかった。

⑧ 展示会場



(4) 第43回企画展

- ① 題 名 『奥の細道』「大垣」の章段を探る
- ② 会 期 令和7年10月4日（土）～令和7年11月16日（日）【入館者数：3,016人】
- ③ 内 容 大垣は、「奥の細道むすびの地」と称されるように、芭蕉が著した『奥の細道』を締めくくる章段として登場する。紀行本文には、大垣を訪れた主人公「予」と人々との交歓の様子が描かれている。本企画展では、『奥の細道』の「大垣」の章段を取り上げ、芭蕉と大垣とのつながりや芭蕉を取り巻く人々について、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。

④ 展示資料

- ・芭蕉筆「蛤の」句懐紙（当館蔵）
- ・芭蕉筆「かげろふの」歌仙（個人蔵）
- ・木因筆「青柳や」等二句懐紙貼付木因坐像（個人蔵） ほか

⑤ 学芸員によるギャラリートーク

回 数	と き	参 加 者
第1回	10月5日（日）	14人
第2回	10月12日（日）	9人
第3回	11月2日（日）	8人
第4回	11月16日（日）	10人
計		41人

⑥ 企画展関連講座

- 1) と き 令和7年10月26日（日）
- 2) と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- 3) 演 題 蛤画賛 徹底分析
- 4) 講 師 大阪城南女子短期大学教授 小林 孔 氏
- 5) 参加人数 46人
- 6) 受講料 無料

⑦ 講座のアンケート結果

- ・芭蕉がここまで深く考えて、ものを作っていた可能性があるとは知らなかった。
- ・大変おもしろかった。画も含めて物事をあらゆる方向に突き詰めていったものが現在まで残る、素晴らしい作品になるのだと感嘆した。
- ・寸法を測るという研究手法を初めて知り、興味深かったです。

⑧ 展示会場



2 教育普及活動

(1) 総合監修者講演会

奥の細道むすびの地記念館総合監修者である佐藤勝明教授の講演を開催した。

- ① と き 令和7年11月9日（日）
- ② と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- ③ 演 題 一茶の連句はどのようなものか
- ④ 講 師 和洋女子大学教授 佐藤 勝明 氏
- ⑤ 参加人数 30人
- ⑥ 受講料 無料
- ⑦ 講座のアンケート結果
 - ・連句の「付け方」がすごい技だと思った。
 - ・芭蕉の時代の連句から、時代を経て、連句がどうなっていたかを一茶の連句を通して少しわかっておもしろかった。

(2) おおがき芭蕉大学

全国有数の俳文学の研究者を招いて、様々な切り口から、『奥の細道』や松尾芭蕉についての講座を開催した。 【各回募集、受講料無料】

① 講師・内容等

と き	演 題	講 師	参加者
令和7年 7月20日（日）	ポケモンは松尾芭蕉が作った！？ ～妖怪と俳諧の意外な関係～	兵庫県立歴史博物館学芸課長 香川 雅信 氏	45人
9月28日（日）	俳諧説話の中の〈芭蕉〉 ～史実と伝承～	國學院大學教授 伊藤 龍平 氏	44人

- ② と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
- ③ 講座のアンケート結果
 - ・俳諧の元ネタに各地の妖怪話が使われていることが印象に残った。（7月20日分）
 - ・芭蕉と妖怪というむすびつきがとてもおもしろかった。俳諧と妖怪の関わりがあることも初めて知った。（7月20日分）
 - ・芭蕉の説話から始まり、説話とはどんなものかを広く知ることができたのはとても勉強になった。芭蕉自体の説話のおもしろさもわかってとても楽しかった。（9月28日分）
 - ・伝承文化とはおもしろい。芭蕉のことを伝え広めたいという人々が多かったということだと思う。史実と伝承の違いもわかりおもしろかった。（9月28日分）

(3) おおがき先賢大学

先賢館で展示している先賢やその関係者に焦点を当て、全国各地の研究者を招いての講演会を開催した。 【各回募集、受講料無料】

① 講師・内容等

と き	演 題	講 師	参加者
令和7年 12月14日(日)	幕末政治史と所郁太郎 ～板倉筑前介(淡海槐堂)との関わりから～	京都女子大学・大谷大学非常勤講師 中村 武生 氏	75人
令和8年 2月22日(日)	社会教育の父・関屋龍吉氏と 青い目の人形・答礼人形	一般社団法人日本人形玩具学会会員 伊井 さえこ 氏	71人 ※R8.2.1現在 申込者数

② ところ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1

③ 講座のアンケート結果

- ・所郁太郎の名前を知っているだけだったが、周辺の事情について多くのことを知ることができた。(12月14日分)
- ・幕末史の中での所郁太郎の活躍がよくわかった。(12月14日分)

(4) こどもミュージアム ※令和7年度新規事業

子どもたちが、松尾芭蕉や大垣にゆかりの先賢について、関連する歴史・文化に触れながら学ぶ体験型の講座を開催した。

※大垣市第2次教育振興基本計画に基づき、芭蕉や先賢に関する体験型講座を通して、子どもたちが芭蕉や先賢について親しむ機会を増やすことを目的として実施した。

① 講師・内容等

と き	内 容	講 師	参加者
令和7年 7月27日(日)	和装本づくり	一級製本技能士 田中 稔 氏	14人
令和7年 8月2日(土)	水墨画体験講座	水墨画家 荒井 克典 氏	16人

② と ころ 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1

③ 講座のアンケート結果

- ・普段は絵本の読み聞かせをしたりして、絵本が親子ともに大好きですが、「和装本」というのはあまり身近にないので、その文化に触れてみたいと応募しました。
(7月27日分)
- ・和装本の作り方を講師の方がわかりやすく教えてくれたり、実際に作って見せてくれたりして、わかりやすかったです。また今回のイベントで歴史などの社会に興味を持つことができました。(7月27日分)
- ・ただ絵を描くのではなく、初めから教えてもらったところがとてもよかった。
(8月2日分)
- ・初めて水墨画をやりましたが、とても楽しく作ることができました。(8月2日分)

④ 講座の様子



参加者が作った和装本



水墨画を描く参加者

(5) 学芸員実習の受け入れ

学芸員実習の受け入れに際し、奥の細道むすびの地記念館等で実習を行った。

① 実習日程

日数	期 日	場 所
1日目	令和7年8月1日（金）	守屋多々志美術館、奥の細道むすびの地記念館
2日目	令和7年8月2日（土）	守屋多々志美術館
3日目	令和7年8月3日（日）	奥の細道むすびの地記念館
4日目	令和7年8月4日（月）	奥の細道むすびの地記念館
5日目	令和7年8月5日（火）	守屋多々志美術館

② 実習人数

3人（内訳：岐阜女子大学・中部大学・三重大学）

③ 実習内容

- 1) 講 話 展示の企画運営、資料の取扱いについて
- 2) 実 習 作品調査、作品解説、展示、古文書の整理、ワークショップ等

④ 講 師

守屋多々志美術館職員、奥の細道むすびの地記念館学芸員（文化振興課職員）

(6) 講師派遣

芭蕉や俳諧、先賢に関する講演依頼等に対し、学芸員の派遣等を行った。

月 日	講座・講演会名	内 容	参加者
令和7年7月10日（木）	大垣市「飛び出す市役所」出前講座 （大垣市立安井小学校3年生）	ふるさと大垣のじまんをみつけよう ～俳句と大垣城について～	100人
令和7年10月5日（日）	星巖祭（168回忌）記念講演	金森吉次郎から見た梁川星巖	50人
令和7年12月18日（木）	大垣市「飛び出す市役所」出前講座 （ 談 風 会 ）	第42回企画展「金森吉次郎 ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～」を終えて	20人

(7) ふるさと魅力体験事業

① 目的

市内小学生を対象とし、ふるさと大垣への愛着を深めるため、「奥の細道むすびの地」である船町川湊で吟行をするとともに、芭蕉や先賢、俳句を学ぶ機会として、奥の細道むすびの地記念館の見学を実施した。

② 対象 大垣市内小学校・義務教育学校6年生

③ 実施実績 全19校のうち15校、1,110人（引率職員を含む）を受入

日程			学校名	参加人数（人）			
月日	曜	見学時間		児童	引率職員	計	クラス
5月13日	火	9：00～10：45	南 小学校	33	1	34	1
5月21日	水	10：05～11：20 13：45～15：00	小野 小学校	147	5	152	5
5月28日	水	10：05～11：05 14：05～15：05	北 小学校	129	4	133	4
6月2日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	西 小学校	110	4	114	4
6月3日	火	9：00～10：45	青墓 小学校	47	2	49	2
6月9日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	中川 小学校	124	4	128	4
6月11日	水	10：05～11：50	綾里 小学校	23	1	24	1
6月18日	水	10：05～11：50	江東 小学校	77	3	80	3
6月30日	月	10：05～11：50	荒崎 小学校	35	1	36	1
7月2日	水	10：05～11：50	墨俣 小学校	41	2	43	2
7月7日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	東 小学校	72	3	75	3
7月9日	水	10：05～11：50	宇留生 小学校	77	3	80	3
9月3日	水	9：55～11：40	上石津 学園	29	1	30	1
9月17日	水	10：05～11：50	赤坂 小学校	59	2	61	2
9月26日	金	9：00～10：45	興文 小学校	69	2	71	2
				1,072	38	1,110	

(8) 視察等受入

各種団体の記念館への視察を受け入れ、学芸員等が説明を実施した。

月 日	団 体	内 容	参加者
令和7年4月16日(水)	荒川区議会	施設見学 (震災・災害対策調査特別委員会)	12人
令和7年5月22日(木)	大垣市立西部中学校 1年生	施設見学	35人
令和7年5月29日(木)	市役所 2年目職員 (人事課要請)	施設見学及び俳句づくり (2年目職員研修)	37人
令和7年6月4日(水)	学校法人西濃学園 高校1年生	施設見学及び俳句づくり	17人
令和7年6月27日(金)	松阪市長	施設見学 (観光分野における交流推進)	2人
令和7年8月7日(木)	岐阜女子大学博物館 学芸員課程受講者	施設見学実習 (博物館の概要、仕事内容、展示等)	27人
令和7年10月7日(火)	市内小・中学校教職員 初任者	施設見学及び俳句づくり (初任者研修)	45人
令和7年10月23日(木)	東京都足立区議会	施設見学 (区民委員会)	10人
令和7年11月13日(木)	池田町立温知小学校 5年生	施設見学及び俳句づくり	80人
令和8年1月15日(木)	大垣市立南中学校 1年生	施設見学 (課題別研修)	10人

3 資料の収集活動（令和7年1月～12月）

※令和7年1月～3月分は、令和6年度の会議での報告後に収集した資料。

(1) 購入 21点

No.	年 度	購入年月	資 料 名
1	令和6年度	R 7. 1	各務支考書状（童平宛）
2		R 7. 1	和田万吉葉書（北浦大助宛）
3		R 7. 1	南條文雄書簡（大村西崖宛）
4		R 7. 3	江馬細香宛書簡（鶯翁宛）
5		R 7. 3	江馬細香宛書簡（沼波琳安宛）
6		R 7. 3	梁川紅蘭宛書簡（森春涛宛）
7		R 7. 3	梁川星巖宛書簡（玉巖宛）
8		R 7. 3	梁川星巖宛書簡（池田玄同宛）
9	令和7年度	R 7. 8	小原鉄心書簡（白木恕介宛）
10		R 7. 10	梁川星巖来翰（白木東陵）
11		R 7. 10	梁川星巖来翰（山本順正）
12		R 7. 10	梁川星巖来翰（伊藤介一）
13		R 7. 10	梁川星巖来翰（忍頂寺仁三郎・伊藤介一）
14		R 7. 10	梁川星巖来翰（医竹堂彦兵衛）
15		R 7. 10	梁川星巖来翰（塩浜竹蔵）
16		R 7. 10	藤本元岱書状（梁川星巖宛）
17		R 7. 11	南條文雄短冊
18		R 7. 12	『芭蕉門古人真蹟』
19		R 7. 12	上田聴秋賛・中野其玉画 蝶図
20		R 7. 12	上田聴秋撰 句帳
21		R 7. 12	上田聴秋撰 句帳

(2) 寄附 95点（6件）

No.	件数	年 度	寄附年月	資 料 名
1	1	令和6年度	R 7. 2	『有磯海 奥に姫の式』（写本）
2				『雪おろし』（写本）
3				『山吹集』
4				『雑談集』上・下（写本）
5				『暁台七部集初編』上
6				『俳諧十論衆議拾遺』

No.	件数	年 度	寄附年月	資 料 名		
7	1	令和6年度	R 7. 2	『つれづれの讃』		
8				『泊船集』下		
9				『芭蕉庵再興集』(写本)		
10				『初一念』		
11				『伊勢新百韻』(写本)		
12				『類題発句集』夏・冬		
13	2	令和7年度	R 7. 4	『天神法楽之発句』		
14				不角・一蜂点 前句付高点句巻(卷子本)		
15				『花摘』上・下		
16				『柿表紙』上・中・下		
17				『連誹秘決抄』一・二、『連誹秘決抄或問』(写本)		
18				『別坐鋪』		
19				『誹諧初学抄』		
20				『芭蕉庵小文庫』上・下		
21				『養老瀧の記』		
22				『蕪村翁文集』乾・坤		
23				3	R 7. 7	春峰画・文花賛「ふむ影に」等四季発句文花坐像
24				4	令和7年度	R 7. 7
25	野村藤蔭筆「金森金四郎翁寿像碑文」					
26	金森金四郎筆「鳴不飛不」					
27	青木儷稿画「金森吉次郎衆議員議員当選祝賀宴会」					
28	金森吉次郎筆 七言絶句「仲秋の詩」					
29	小中村清矩筆「頌徳謝恩表」					
30	小野鷲堂筆「天皇陛下銀婚式賀表」					
31	水谷奥嶺筆「金森吉次郎寿像歌」					
32	松野緑筆「藍綬褒章寄贈祝章」					
33	西濃山岳震災図(根尾・徳山・伊自良震災実況図)					
34	井上毅筆「治水詠草」附小野鷲堂識語					
35	金森吉次郎宛福沢諭吉書簡・金原明善宛品川弥次郎書簡(2通1巻)					
36	金森吉次郎宛小室翠雲書簡(2通入)					
37	小野湖山筆「窮民図巻附詩」					
38	津田天游筆「醜梅歌」					
39	一柳元吉筆「禾苗詩」					

No.	件数	年 度	寄附年月	資 料 名
40				池部義象筆「水災和合詠草」
41				金森吉次郎宛高崎正風書簡（5通入）
42				金森吉次郎宛陸羯南書簡（5通入）
43				有松英義筆「読金森士遠寿像記」
44				有松英義筆「金森士遠略伝記」
45				金原明善 上書（印刷）
46				西村捨三筆「三大川分流成工詩」
47				金森吉次郎翁寿像除幕式実況撮影（写真）
48				金森吉次郎翁寿像全景撮影（写真）
49				金森吉次郎肖像 洋装（写真）
50				金森吉次郎肖像 和装（写真）
51				金森吉次郎宛諸氏書簡貼交屏風（2曲1隻）
52				有松氏揮筆「寒魚士詩」
53				金森吉次郎宛西微山書簡（8通入）
54				金森吉次郎宛井上毅書簡（11通入）
55				金森嘉兵衛宛村瀬藤城書簡（12通入）
56	4	令和7年度	R 7. 7	金森嘉兵衛宛村瀬藤城書簡（11通入）
57				金森嘉兵衛宛村瀬秋水書簡（13通入）
58				岡鹿門筆「金森氏書画横卷記」
59				川瀬格堂詩
60				西微山筆「忙仙子伝」
61				水谷奥嶺筆「鄭成功長編詩」
62				後藤松陰詩卷
63				富永弥左衛門 宗白居士碑文（一）（拓本）
64				富永弥左衛門 宗白居士碑文（二）（拓本）
65				富永弥左衛門 宗白居士碑文（三）（拓本）
66				富永弥左衛門 宗白居士碑文（四）（拓本）
67				浪花洗翁詩
68				大塩先生永源寺観楓長篇詩
69				人見璣邑書簡（3卷）
70				嶺田楓江書簡
71				村瀬太乙筆湖東詩画賛
72				小原鉄心筆「心外無法」扁額

No.	件数	年 度	寄附年月	資 料 名
73	4	令和7年度	R 7. 7	大谷光演筆「至誠如佛」扁額
74				金森吉次郎筆「戒傲勸謙」「於施印戴」(原稿)
75				金森吉次郎宛高崎正風葉書
76				金森吉次郎宛高崎正風葉書
77				高崎正風宛金森吉次郎郵便物受領証
78				人見璣邑翁略伝(原稿)
79				水火和合歌似金森毅菴並引(印刷)
80				金森吉次郎宛高崎正風書簡(封筒とも)
81	5		R 7. 9	『笈日記』中
82				『風狂文艸』一～五
83				『貞徳夢想百韻』(写本)
84				『潮の花』
85				『淡々文集』一～三
86				『虚白発句集』乾・坤
87				『家作楽集』
88				『蕉門五竹坊秘話』(写本)
89				『つたふ松風』
90				『月乃梅』
91				『はせを句解参考』(写本)
92				『丈草発句集』(写本)
93		『異名分類抄』		
94		『奥細道菅菰抄』上		
95	6	R 7.10	『花供養』一～九	

(3) 預託 1点 (1件)

預託年月	資 料 名
R 7. 4	元禄7年9月23日付松尾半左衛門宛芭蕉書簡